

社会教育編：n【29】

テーマ 「『多様な性のあり方』について考える」

タイトル 「性のあり方はグラデーション」

【学習のポイント】

○性のあり方に対する考え方を見つめ直すことができる。

【すすめ方】（80分）

流れ	分	主な活動	主な発問等	留意点
導入	5	1 活動のねらい、話合いのルールを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ■「性のあり方」について考えていくことを伝える。 ■まじめなおしゃべりをしながら「テーマ」について理解を深める活動であることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆おしゃべりのルール（参加・尊重・守秘）について説明する。
	7 (12/ 12)	2 アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none"> ■グループごとに自己紹介と、「好きな〇〇とその理由」を話しましょう。 ■話す順番は、じゃんけんで決めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆1グループの人数は、4～5人とする。 ◆話しやすい雰囲気になるように場を和ませる。
展開 1	5 18 (23/ 35)	3 性に対するイメージについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ■ワークシートの質問を読んで、思い浮かべた部分を○印で囲みましょう。深く悩まず、パッと思い浮かんだところでよいです。 ■質問ごとに、一人ずつシールを貼り理由を紹介しましょう。全員が紹介し終わったら、感想や意見を伝え合いましょう。 ■①～⑦まで全ての項目について話をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ワークシートは、アイスブレイクをしている間に配布する。 ◆模造紙①にシールを貼りながら紹介するように伝える。 ◆意見がほぼ同じグループには、ファシリテーターが「その部分に当てはまらない場合はないか」など質問し、多様な意見を引き出せるようにする。
展開 2	25	4 ワールドカフェで意見を交流する。 (7分×2セット) (6分×1セット)	<ul style="list-style-type: none"> ■ホストの人はグループに残り、その他の人は違うグループに行き意見を交流をしましょう。 ■模造紙の空いている部分に意見などを書き込んでもよいです。 ■項目が多いので、1回目は主に①から③について、2回目は主に④から⑦について話しましょう。 ■3回目は自分のグループに戻り、ど 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ワールドカフェの方法について簡単に説明し、ホスト役を決めるよう指示する。 ◆1回目と2回目で、ホストを変えてもよいことを伝える。

	(25/ 60)		んな話があったのか伝えましょう。	
展開 3	2	5 性に対する考え方や価値観、性のあり方などについて、自分の考えをまとめ、感想を交流する。	<p>■「性のあり方」について考えるとき、単純に「男性/女性」の二択ではなく、境界線が明瞭でない、グラデーションで捉えることができます。（模造紙を②の形にして）ここでは、性のあり方を4つの視点で考えてもらいました。</p> <p>■ここまでの活動を振り返り、どのようなことを思ったり考えたりしましたか。グループで話をしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの中で感じたこと ・子どもに今日の学びを伝えるとしたら、どのような話をしますか。 ・家庭でできそうなことはありますか 	<p>◆模造紙を②のようにしてもらおう。</p> <p>◆ワークシート□部分に記入するよう指示する。</p> <p>◆家庭で大切にしたいことやできそうなことがあれば、そのことについても話題にしてもらいたいことを伝える。</p>
	10			
	(12/ 72)			
まとめ	5	6 ファシリテーターによるまとめを聞く。	<p>■本来、人間の性のあり方は多様であるにもかかわらず、これまで多くの人が男らしさや女らしさとか、異性愛前提の社会によって生き方を縛られてきたのではないか。</p> <p>■自分の性は何だと思いましたか。性の4つの要素について考えてみましょう。</p>	◆配布資料をもとに説明する。
			<p>■人がどのような人に性的に惹かれるかということや、自分の性のあり方をどのように認識したり表現したりするかは、その人の自由であり、人権として保障されるものである。</p> <p>■ジェンダー規範（男らしさや女らしさ）や異性愛規範で苦しんでいる人や生きづらさを感じている人がいることを知ってもらいたい。</p> <p>■「性のあり方」は人によってそれぞれ。人に決められるものではない。自分が決める。</p> <p>■「多様な性のあり方が尊重される社会」はすべての人を大切にし、大切にされる社会である。</p> <p>■大切なのは、「誰が性的マイノリティなのか」ではなく、「私たち一人ひとりが多様な性の一員である」ということを認識することである。</p>	
	3	7 アンケートを書く。		
	(8/ 80)			

〈イメージ図〉

【模造紙①（横向き）】

①	かわいらしい人が好き	女 ←————→ 男
②	昆虫が嫌い	女 ←————→ 男
③	自分のことを女性だと思っている	女 ←————→ 男
④	髪の毛が長い	女 ←————→ 男
⑤	自分のことを「ぼく」と言う	女 ←————→ 男
⑥	体が柔らかい	女 ←————→ 男
⑦	走るのが速い	女 ←————→ 男

【模造紙②】（①に赤字部分を折り返して提示）

好きな 人やもの	かわいらしい人が好き	女 ←————→ 男
	昆虫が嫌い	女 ←————→ 男
心	自分のことを女性だと思っている	女 ←————→ 男
服装や言 葉遣いな ど(表現)	髪の毛が長い	女 ←————→ 男
	自分のことを「ぼく」と言う	女 ←————→ 男
身体	体が柔らかい	女 ←————→ 男
	走るのが速い	女 ←————→ 男

〈準備物〉

- ・ワークシート ・模造紙 ・ドットシール（一人7枚） ・配布資料
- ・マジックペン （・ワールドカフェの説明用の用紙）

性のあり方はグラデーション

(1) 性の要素とは

「性」について考えるとき、単純に「男性/女性」だけではなく、様々な切り口があります。この資料では性のあり方を次の4つの要素で考え、一人ひとりの違い、性の多様性について理解を深めます。

【性の4つの要素】

それぞれの要素は「グラデーション（色調の段階的な変化）」で考えられます。

【好きになる性】 恋愛や性愛の対象となる性別（性的指向）	女 ←————→ 男
【心の性】 自分の性別をどのように認識するか*（性自認）	女 ←————→ 男
【表現する性】 服装、しぐさ、言葉づかいなどで表現される性別	女 ←————→ 男
【身体の性】 生まれながらの身体の性別（身体の性的特徴）	女 ←————→ 男

*どちらかはっきり決められない、どちらでもないなども含む

※矢印の方向は、その性の要素があることを表しており、矢印の方向へ行くほどその要素が強くなります。それぞれの要素について、男女どちらか一方にある人もいれば、両方の要素がある人、どちらか決められない人、どちらの要素もない人もいます。

(2) 多様な性のあり方

性のあり方を4つの要素で表現し、それぞれの要素をグラデーションで考えることで、性の多様性について理解できるようになり、自分がどのような性別であるか、どのような性別に性的指向が向くかについても考えることができます。性の多様性は、多数派である性的マジョリティにもあてはまります。割り当てられた性別に違和感がなく、異性に対して恋愛感情を持つ人も、多様な性のあり方の一つです。

「性の多様性」という概念は、すべての人が多様な性の中で生きていることを理解するために重要であり、性的マイノリティであるかどうかに関わらず、他者を尊重する上でとても大切な考え方です。

**大切なのは、「誰が性的マイノリティなのか」ではなく、
「私たち一人ひとりが多様な性の一員である」ということを認識することです。**

出典：誰もが自分らしく輝くために～多様な性のあり方と人権～（鳥取県教育委員会）

Web ページ
はこちら →



〈ワークシート〉

①から⑦を読んで、思い浮かべた部分に○印を付けましょう。

①	かわいらしい人が好き	女	男
②	昆虫が嫌い	女	男
③	自分のことを女性だと思っている	女	男
④	髪の毛が長い	女	男
⑤	自分のことを「ぼく」と言う	女	男
⑥	体が柔らかい	女	男
⑦	走るのが速い	女	男

[memo]